

資料3-2 印鑑登録システム(オプション)【2.0版】

要件種別	機能名称			機能ID	機能要件	みよし市での 要否	要件の考え方・理由 備考
	大分類	中分類	小分類				
機能要件	1 管理項目	1.1. 登録データ	1.1.1. 日本人住民データの管理	0020002	印影の氏名区分(氏名、氏のみ、名のみ、旧氏と名、旧氏、氏頭文字と名頭文字、氏頭文字と名、氏と名頭文字、旧氏頭文字と名頭文字、旧氏頭文字と名、旧氏と名頭文字、その他)(「その他」は、従前から登録を受けていた印影が、上記の氏名区分に該当しない場合及び条例等において上記以外の区分を認めている場合にのみ使用する。「その他」を使用する場合は、メモに印影の詳細を自由記述式で記載できること。また「その他」を選択した場合、アラートを表示すること。) ・保証人の宛名番号 ・保証人の氏名 ・保証人の住所 ・保証人の生年月日 ・保証人の性別 ・保証人の登録番号 ・世帯員の並び順(4.1.1 参照)	○	指定都市においては、区間異動(区間転入)の場合は転出区側の印鑑登録を引き継ぐ運用としている場合もあるため、登録時の区名を管理することを標準オプション機能とした。 印影の氏名区分については、データ移行が煩雑になるとの意見や、市区 町村の運用上必須ではないとの意見があったため、標準オプション機能とした。
機能要件	1 管理項目	1.1. 登録データ	1.1.2. 外国人住民データの管理	0020005	氏名優先区分(氏名・通称のいずれを使用するか。1.1.10 参照) 印影の氏名区分(氏名、氏名(カタカナ表記)、氏のみ、氏のみ(カタカナ表記)、名のみ、名のみ(カタカナ表記)、氏頭文字と名頭文字、氏頭文字と名頭文字(カタカナ表記)、氏頭文字と名、氏頭文字と名(カタカナ表記)、氏と名頭文字、氏と名頭文字(カタカナ表記)、通称、氏と通称の一部、通称の一部と名、その他)(「その他」は、従前から登録を受けていた印影が、上記の氏名区分に該当しない場合及び条例等で上記以外の区分を認めている場合にのみ使用する。「その他」を使用する場合は、メモに印影の詳細を自由記述式で記載できること。また「その他」を選択した場合、アラートを表示すること。) ・保証人の宛名番号 ・保証人の氏名 ・保証人の住所 ・保証人の生年月日 ・保証人の性別 ・保証人の登録番号 ・世帯員の並び順(4.1.1 参照)	○	1.1.1.日本人住民データの管理と同様。
機能要件	1 管理項目	1.1. 登録データ	1.1.10. 氏名優先区分	0020018	郵便物の送付先の記載に対して氏名優先区分(例:外国人住民について、通称のみの記載を希望するか、本名のみの記載を希望するか。)を管理すること。	○	住民記録システムに準ずる。
機能要件	1 管理項目	1.2. 異動履歴データ	1.2.2. 異動事由	0020023	異動事由:保証人登録	○	-
機能要件	1 管理項目	1.3. その他の管理項目	1.3.2. 印鑑登録番号付番	0020027	登録番号は、自動で連番を割り振る方法、番号を指定して手入力する方法及び登録番号を印鑑登録証等からカードリーダーで読み取る方法のうち複数の方法を備え、場合に応じて方法を選択して、登録できること。	○	-
機能要件	1 管理項目	1.3. その他の管理項目	1.3.5. 印鑑登録証データの管理	0020033	印鑑登録証等の券種について、以下を管理できること。 ・個人番号カード(条例等利用領域又は磁気テープを利用) ・有効期限切れの住基カード	○	個人番号カード(条例等利用領域又は磁気テープ等の利用)の利用について、実装必須機能とすることも検討されたが、全国照会において印鑑登録証等の形態について回答をいただいたところ、条例等利用領域の利用が3%、磁気テープの利用が4%の自治体を利用しているのみとなり、かなり少数であったことから、標準オプション機能とした。 また、住基カードについては、新規発行はなく、最長で券面の有効期限が令和7年のため、実装不可機能とすることも検討されたが、有効期限切れの住基カードの条例に規定する目的に係る利用について、カードの運用状況に連動させるかどうかは自治体の判断によるため、継続使用を認めることができることや、全国照会において8%の自治体を利用していることから、標準オプション機能とした。
機能要件	1 管理項目	1.3. その他の管理項目	1.3.6. 交付履歴の管理	0020035	・性別の記載有無	×	性別を表示する自治体においては、申請者の申出により、性別を表示しないことができること。

資料3-2 印鑑登録システム(オプション)【2.0版】

要件種別	機能名称			機能ID	機能要件	みよし市での 要否	要件の考え方・理由 備考
	大分類	中分類	小分類				
機能要件	1 管理項目	1.3. その他の管理項目	1.3.7. 認証者	0020040	証明書等の認証者を「〇〇長 公印」のように氏名空欄とできること。	×	住民記録システムに準ずる。 ただし、認証者を空欄とすることについては、住民記録システムにおいては、住基事務処理要領2-4-(1)-⑥-ウにて、氏名空欄を許容しない旨が記載されている一方、印鑑登録システムにおいては事務処理要領上規定がないため、事務能率等を鑑み、標準オプション機能とした。
機能要件	2 検索・照会・操作	2.1. 検索	2.1.3. 基本検索	0020052	個人や世帯を検索、選択後、該当者の1.1.1(日本人住民データの管理)及び1.1.2(外国人住民データの管理)の印影を除くデータをCSV形式で出力する機能を有すること。	○	住民記録システムに準ずる。
機能要件	2 検索・照会・操作	2.1. 検索	2.1.3. 基本検索	0020053	在留カード番号から検索できること。	○	住民記録システムに準ずる。
機能要件	4 異動	4.1.1. 世帯内印鑑登録状況・印影表示	4.1.1.1. 世帯内印影表示	0020084	1.1.1(日本人住民データの管理)及び1.1.2(外国人住民データの管理)に規定する世帯員の並び順(住民記録システム標準仕様書「5.2 世帯員の並び順」)に従った並び順で世帯内印影票を出力できること。	×	-
機能要件	4 異動	4.1.3. 保証人	4.1.3.1. 保証人確認	0020089	保証人による登録を行う場合、保証人確認票を表示できること。また、異動事由を「保証人登録」とし異動履歴が管理できること。	○	保証人方式は、窓口において申請者の印鑑登録事務を実施する前に行われる事務であり、本人確認書類を所持していない者でも印鑑登録を可能とする機能である。事務処理要領上可能な方法だが、実施していない自治体もあるため、標準オプション機能とした。保証人は印鑑登録済みの住民であることが前提となっているため、保証人の検索は、2(検索・照会・操作)の機能による。ただし、住民でない保証人を許容する自治体も存在することから、手動による保証人入力は可能とする。なお、この場合の印鑑登録番号の入力については市外在住者であることがわかる任意の番号を入力する想定である。
機能要件	4 異動	4.1.3. 保証人	4.1.3.1. 保証人確認	0020090	必要に応じて保証人確認票を出力できること。	○	保証人の持つ印鑑の印影照会のために、保証人確認票を出力する機能が必要となる。
機能要件	4 異動	4.1.3. 保証人	4.1.3.2. 交付確認	0020092	保証人を付しての登録申請については、登録後に登録申請者本人宛の、印鑑登録を実施したことを教示するための印鑑登録確認通知書を出力できること。	○	保証人方式は、事務処理要領上可能な方法だが、実施していない自治体もあるため、標準オプション機能とした。
機能要件	4 異動	4.1.4. 印鑑照会及び回答	4.1.4.2. 印鑑の登録に関する照会書発行	0020100	照会書発行時に連番等で任意の桁数の照会番号を付番し、照会書に印字できること。	○	回答登録の際に照会書に記載された照会番号で検索を実施し登録を行うことが精度向上につながるとの意見があったため、照会番号の付番及び印字を標準オプション機能とした。照会番号ではなく登録番号で管理することも想定されるが、印鑑登録者識別カードなどの券面をバーコードで読み込み登録番号を設定する場合、登録番号が設定されるのは回答登録時であることから、別途照会番号として設けることも可能とした。
機能要件	4 異動	4.1.4. 印鑑照会及び回答	4.1.4.2. 印鑑の登録に関する照会書発行	0020101	照会番号が付番されている場合、照会番号で検索を実施できること。	○	-
機能要件	4 異動	4.1.5. 印影登録	4.1.5.1. 印影読込	0020114	可視台帳(押印前)又は住民が印影を押下するための申請書を出力できること。	○	印影の読み取りについては、可視台帳、住民が印影を押下した申請書、印鑑本体からの読み取り等自治体によって様々であったため、読み取り方法は規定しない。そのため、可視台帳(押印前)や住民が印影を押下するための申請書の出力については、いずれも標準オプション機能とした。
機能要件	5 印鑑登録証	5.2. 印鑑登録者識別カード	5.2.4. 登録者暗証番号設定	0020148	印鑑登録者識別カードに登録者暗証番号を設定できること。 また、使用中の登録者暗証番号を変更できること。 登録者暗証番号は、数字で4文字とすること。 印鑑登録システム以外のシステムでの管理も可能とするが、その場合は、当該カードを管理するシステムの操作で設定することも妨げない。	×	印鑑登録者識別カードに暗証番号を設定して使用する場面として、自動交付機での交付が考えられるが、自動交付機を使用している自治体が少ないことから標準オプション機能とした。 暗証番号について、半角英数字で6文字以上、16文字以下とする案も検討されたが、利用者証明用電子証明書の暗証番号の桁数と整合をとることや、印鑑登録証明書は必要とする機会が少なく使用頻度の低いことが想定される暗証番号の忘失を予防する意図から、数字4桁とした。

資料3-2 印鑑登録システム(オプション)【2.0版】

要件種別	機能名称			機能ID	機能要件	みよし市での 要否	要件の考え方・理由 備考
	大分類	中分類	小分類				
機能要件	5 印鑑登録証	5.2. 印鑑登録者識別カード	5.2.5. 登録者暗証番号廃止	0020149	印鑑登録者識別カードに設定されている登録者暗証番号を廃止できること。印鑑登録システム以外のシステムでの管理も可能とするが、その場合は、当該カードを管理するシステムの操作で廃止することも妨げない。	×	-
機能要件	5 印鑑登録証	5.3. 印鑑登録証及び印鑑登録者識別カードの引換交付	-	0020152	引換交付時に登録番号を維持するか更新するか、又はその都度選択するかを設定できること。	×	-
機能要件	5 印鑑登録証	5.4. 個人番号カードの利用	5.4.2. 個人番号カード(条例等利用領域又は磁気テープ等を利用)の利用	0020156	個人番号カードの条例等利用領域又は磁気テープを利用して印鑑登録証又は印鑑登録者識別カードとして利用する場合には、基本利用領域及び他の利用領域とは独立した条例等利用領域又は磁気テープに、個人番号カードAP搭載システムを利用して、必要な事項(登録番号)の記録及び登録者暗証番号の設定ができること。	×	個人番号カード(条例等利用領域又は磁気テープ等を利用)の利用について、実装必須機能とすることも検討されたが、全国照会において印鑑登録証等の形態について回答をいただいたところ、条例等利用領域の利用が3%、磁気テープの利用が4%の自治体が利用しているのみとなり、かなり少数であったことから、標準オプション機能とした。
機能要件	5 印鑑登録証	5.4. 個人番号カードの利用	5.4.2. 個人番号カード(条例等利用領域又は磁気テープ等を利用)の利用	0020157	個人番号カードAP搭載システムを利用して記録した事項の削除及び設定した登録者暗証番号の廃止ができること。	×	個人番号カード(条例等利用領域又は磁気テープ等を利用)の利用において、個人番号カードの亡失があった場合には、悪用防止の観点から、印鑑登録証又は印鑑登録者識別カードと同様、当該印鑑登録情報は抹消されるものと想定している。この場合の異動事由は、「印鑑又は印鑑登録証等の破損、亡失」とする。
機能要件	5 印鑑登録証	5.5. 有効期限切れの住基カードの利用	-	0020158	有効期限切れの住基カードを印鑑登録証又は印鑑登録者識別カードとして利用することができること。	×	住基カードについては、新規発行はなく、最長で券面の有効期限が令和7年のため、実装不可機能とすることも検討されたが、有効期限切れの住基カードの条例に規定する目的に係る利用について、カードの運用状況に連動させるかどうかは自治体の判断によるため、継続使用を認めることができることや、全国照会において8%の自治体が利用していることから、標準オプション機能とした。
機能要件	6 印鑑登録証明書	6.1. 印鑑登録証明書交付	6.1.1. 印鑑登録証明書交付	0020165	性別を記載する自治体において、申請者の申出により、性別を記載しないことができること。記載しない場合には、証明書の性別欄にはアスタリスクを記載すること。	×	性別欄を設けた自治体においても、住民の申出により性別を記載しないことができること、及びその場合には記載漏れ等の疑いを避けるためにアスタリスクを記載することを標準オプション機能とした。また、同一の自治体において様式が複数作成されることは好ましくないため、性別欄を設けるとした自治体において、申出により性別欄を削除することは許容しない。
機能要件	6 印鑑登録証明書	6.1. 印鑑登録証明書交付	6.1.1. 印鑑登録証明書交付	0020166	転出予定者の住民について、証明書を発行する際にアラートを表示すること。	×	-
機能要件	6 印鑑登録証明書	6.1. 印鑑登録証明書交付	6.1.5. 印鑑登録者識別カードを利用した証明書の出力	0020181	暗証番号を利用する場合は、登録者暗証番号が一致した場合にのみ印鑑登録証明書を出力できること。	×	暗証番号を利用する場合、窓口において申請者が暗証番号を入力することにより印鑑登録証明書を発行することができるが、暗証番号の設定について標準オプション機能としているため当該機能についても標準オプション機能とした。
機能要件	6 印鑑登録証明書	6.2. 印鑑登録証明書交付一時停止	6.2.1. 印鑑登録証明書交付一時停止	0020191	一時停止対象者を一覧で確認できること、又は一時停止対象者を抽出したファイルを作成できること。	○	発行制限をかけたまま放置されたデータがないかの確認、及び発行制限をかけている人数を確認する自治体があるため、一時停止対象者の一覧を確認できることについて標準オプション機能とした。
機能要件	9 共通	9.3. 操作権限管理	-	0020212	組織・職務・職位等での操作権限を設定できること。	○	住民記録システムに準ずる。
機能要件	9 共通	9.3. 操作権限管理	-	0020213	操作権限一覧表で操作権限が設定できること。	○	住民記録システムに準ずる。
機能要件	9 共通	9.3. 操作権限管理	-	0020214	認証に当たっては、シングル・サイン・オンが使用できること。	○	住民記録システムに準ずる。
機能要件	9 共通	9.6. 印刷	-	0020227	必要に応じて、指定期間中に含まれる以下の帳票を、帳票ごとに一括出力できること。	×	印鑑登録確認通知書
様式・帳票要件	-	20.1 様式・帳票全般	20.1.1 出力様式・帳票	0020241	以下の様式・帳票について、直接印刷により出力できること。	×	印鑑登録原票確認票
						×	印鑑登録原票(除票)確認票
						○	保証人確認票
						○	印鑑登録確認通知書

資料3-2 印鑑登録システム(オプション)【2.0版】

要件種別	機能名称			機能ID	機能要件	みよし市での 要否	要件の考え方・理由 備考
	大分類	中分類	小分類				
様式・帳票 要件	-	20.2 住民に発行又は 交付する様式・帳票	20.2.1 印鑑登録証明 書	0020249	印鑑登録証明書に記載する項目は以下のとおりとすること。 ・性別(自治体によって出力有無について選択した結果に基づくこと) ・氏名のフリガナ(氏名の後に括弧で表示すること)	×	-
様式・帳票 要件	-	20.2 住民に発行又は 交付する様式・帳票	20.2.2 印鑑の登録に 関する照会書	0020252	付番した照会番号を記載すること。	○	-